

令和 8 年度武蔵野市財政援助出資団体 経営目標

団体名		一般財団法人武蔵野市給食・食育振興財団				
①	指標名	食育事業（むさしの食育フェスタへの出展、夏休みコミュニティ食堂）の参加者数			目標値	令和7年度比増
	過去の実績	令和5年度	令和6年度	令和7年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位: 人)	フェスタ142 コミ食堂53	フェスタ167 コミ食堂56	フェスタ152 コミ食堂280	令和7年度は、食育フェスタでは、学校給食の試食には134人、調理実習には18人の参加があった。コミュニティ食堂は5個所の会場で実施し、280人の参加があった。	
	財政援助出資団体に関する基本方針(令和8年2月改正)の該当項目			2(1)市民福祉の向上に資する事業の実施		
	設定理由等	むさしの食育フェスタ、夏休みコミュニティ食堂などの食育事業を通して、地域の幅広い層に対して、給食に関する理解や食の重要性への興味・関心を高めていく必要がある。				
事業	取組内容	学校給食への関心が高まるよう日頃から情報発信を行う。 給食の試食では、特色が伝わるメニューを提供する。 調理実習については、市民に関心を持ってもらえる内容や役立つ内容を企画する。				
②	指標名	適切なコストによる学校給食の提供			目標値	1食あたり600円未満
	過去の実績	令和5年度	令和6年度	令和7年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位:円/食)	542	561	572	毎年6月に算出している数値であり、市の決算事務が確定していないため、速報的に算出したものである。	
	財政援助出資団体に関する基本方針(令和8年2月改正)の該当項目			2(1)市民福祉の向上に資する事業の実施		
	設定理由等	人手不足や物価高騰の中、質の高い人材を確保しつつ、適切なコストで安全で質の高い給食を提供し続ける必要がある。				
財務	取組内容	・適正な職員数を把握するとともに、施設や食数に応じた勤務時間、勤務形態で職員を配置する。 ・魅力的な職場環境づくり、人材育成、人的投資などによる人材確保を進める。				
③	指標名	執行体制の簡素・効率化 (市派遣調理職員の財団固有職員への段階的な移行、財団固有職員の技能及び責務の向上)			目標値	固有職員の昇任 2人
	過去の実績	令和5年度	令和6年度	令和7年度	(過去の実績についての説明)	
	(単位: 人)	固有昇任 2	固有昇任 3	固有昇任 5	平成25年度から実施している主任昇任試験により、令和8年3月31日時点で、統括主任3人、技能主任13人がいる。 令和6年度に実施した係長昇任試験により、令和8年3月31日時点で、技能長1人がいる。	
	財政援助出資団体に関する基本方針(令和8年2月改正)の該当項目			3(1)人材の確保・育成と経営基盤強化		
	設定理由等	・給食調理の技術水準を低下させることのないよう、段階的に市派遣職員を財団固有職員に移行しながら、執行体制の効率化を図るため。 ・財団固有職員が現場の責任ある職に就くことで、職員全体の意識・意欲の向上につながる事が期待できる。				
部 管 理	取組内容	・財団の自律性とガバナンスを高めるために市派遣調理職員を増員しないようにしつつ、財団固有職員の比率を上げる。 ・市派遣職員技能長の配置により、保育園給食の受託や安定提供について、現場管理及び人材育成を推進する。 ・業務の高度化・多様化に伴い、令和3年度から新たに設けた「統括主任」に昇任させる財団固有職員(技能主任)を増やし、責任体制の明確化、円滑な業務執行及び持続可能な運営体制の確立を図る。				